

# 原発 **0** にむかって

2012年10月18日 No.36

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel: 03-5978-2741 fax: 03-5978-2865 mail: sien@tokyominiren.gr.jp

## 大田病院 介護保険室が福島研修旅行を企画

介護保険室では今年度の方針を決定する際、フクシマを勉強する旅行（自費）を計画することにしました。みんなで情報を集め共有するために「フクシマとてあいノート」を作り、新聞や雑誌からフクシマ関連の記事をスクラップし、講演会やDVDでの学習もすすめました。9月29、30日の研修旅行には8人が参加しました。当日は福島県民医連に紹介していただいた浜通り医療生協の伊東理事長からレクチャーを受け、病院のバスを貸し切りにして、小名浜生協病院の國井事務長に現地を案内していただきました。「警戒区域」から「避難指示解除準備区域」になった



伊東理事長、國井事務長と小名浜生協病院にて

楢葉町では除染をする以外の人はほとんど見かけませんでした。20キロ圏内の検問には原発工事のバスが何台も行き来していました。楢葉町の運動公園はとても広大な施設で東電がプレゼントしてくれたものですが、ここの放射線の数値は9 $\mu$ Sv/hもありびっくりしました。広野町は新しい戸建てが多く立ち並ぶ町でした。ここは「緊急時避難準備区域」が昨年9月に解除されましたが1年経っても、もともとの人口5,400人のうち300人程度しか帰村してないそうです。楢葉町、広野町ともはずーと広い原っぱが続いていると思ったら、そこは全部農地でした。荒れ果て、作付できずに、簞え立つ草花。人の声も無く車も通らない異様な空間に迷い込んだ感じがしました。

「来てもらいたい、来てもらうことがうれしい」と伊東理事長の言葉です。迷惑かなと思っていましたが、行って、見て、聞いて本当によかったと思いました。みんな心を動かし、遅い夕食の席でも話がつきませんでした。

## 共立医療会 八王子駅頭で署名137筆

放射能から子どもを守ろう原発ゼロの会（八王子原発ゼロの会）では毎月11日に原発ゼロアクションを実施しています。9月11日は「3.11 わすれない 原発ゼロ署名宣伝アクション」をJR八王子駅頭で行い20人が参加しました。署名139筆と福島の子もたちへの飲料水募金1,789円が集まりました。「飲料水を受け取った福島の子もからの礼状」と「会への参加案内」つきティッシュは300個配布しました。シール投票では「原発いる13・いらぬ70・わからない6」で、市民とたくさん対話できました。



## 意見広告へ賛同のお願い

ふくしま復興共同センターと原発をなくす全国連絡会は、全国紙2紙と福島2紙に同趣旨の意見広告を掲載します。全日本民医連でも賛同の呼びかけを行っています。団体の賛同については名称を掲載するため10/31(水)まで、個人申込は11/10(土)までをお願いします。詳細は「ふくしま復興共同センター」のホームページ(<http://fukko.miraisoft.com>)へ。

